

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003011	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	新谷 和幸 / Niya Kazuyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	新谷 和幸 / Niya Kazuyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	新谷 和幸 / Niya Kazuyuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kniiya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部620室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2371		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003012	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 治 / Nishida Osamu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 516		
担当教員TEL/Tel	095-819-2341		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12時~12時50分		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003013	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	畑中 大路 / Taiji Hatanaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	畑中 大路 / Taiji Hatanaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	畑中 大路 / Taiji Hatanaka		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	taijihatanaka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部3階336室		
担当教員TEL / Tel	メールで連絡ください。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月・水・木・金の12:10-12:50。 まずはtaijihatanaka@nagasaki-u.ac.jpへメールをお送りください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003014	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	針貝 綾 / Harikai Aya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	針貝 綾 / Harikai Aya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	針貝 綾 / Harikai Aya		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aharikai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	針貝研究室(美術技術棟2階)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜3校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備などについて、要件があれば記載してください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	高校と大学の授業の違いを認識しながら、今後の自分を確立していくための役に立てることができたらよいと思っています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正



学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003015	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平瀬 正賢 / Hirase Masatake		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	平瀬 正賢 / Hirase Masatake		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	平瀬 正賢 / Hirase Masatake		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masa-i nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館5階510室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2390		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜 15:00 ~ 16:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	積極的な授業への参加を期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003016	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤井 佑介 / Yusuke Fujii		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤井 佑介 / Yusuke Fujii		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤井 佑介 / Yusuke Fujii		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-fujii nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003017	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kmakino nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	美術技術棟2階216		
担当教員TEL / Tel	095-819-2350		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日のお昼休み 事前にメールにて連絡をしてください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		

キーワード/Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	対人関係及び心理学に興味を持ち、積極的に活動にも参加できる意欲のある学生を望みます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	グループワークや演習を多用します。
学生へのメッセージ/Message for students	高校と大学の学習態度の違いを重点的に学習します。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	作品の公開提供。一般社団法人創画会会員(日本画)
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003018	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shimabukuro nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部310号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:50 - 14:20		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加 20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出



学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003019	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大庭 伸也 / Shinya Oba		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大庭 伸也 / Shinya Oba		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大庭 伸也 / Shinya Oba		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ooba nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館412		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的活動への動機づけを高める。</li> <li>・科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。</li> <li>・レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。</li> <li>・学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。</li> </ul>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 各テーマに関して, 資料やインターネットを通して情報収集をしておくこと。(2h) 事後学習: 各テーマに関するグループワークを通して, 自分なりの考えをもつようにすること。		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003020	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kudoh nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館406号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2329		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜8時から8時30分(事前に連絡があると確実)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前, 事後学習の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード/Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に必要に応じて示します。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003021	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中島 貴奈 / Nakajima Takana		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中島 貴奈 / Nakajima Takana		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中島 貴奈 / Nakajima Takana		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takanan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加 30点 プレゼンテーション 40点 レポート 30点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティ10点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	グループ分け, 学生間の議論・討論によるグループテーマの絞り込み作業 発表・振り返り
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講 (予定: 日程が前後することがあります)
第4回	学生間の議論・討論によるグループテーマの絞り込み作業 発表・振り返り
第5回	学生間の議論・討論によるグループテーマの絞り込み作業 発表・振り返り
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第13回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第14回	合同発表会 (予定) によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第15回	最終レポートの修正

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003022	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田口 由香 / Taguchi Yuka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田口 由香 / Taguchi Yuka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田口 由香 / Taguchi Yuka		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y.taguchi@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部614		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日4限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティ-40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード/Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	田口由香 / 令和2年長崎大学教育学部附属学校園における実地指導研修実施
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正



学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003023	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ohirat nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	本館613		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木2		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003024	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	脇 信明 / Nobuaki Waki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	脇 信明 / Nobuaki Waki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	脇 信明 / Nobuaki Waki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nobuwaki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部225		
担当教員TEL/Tel	095-819-2388		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日2限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード/Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003025	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ys11 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部216研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2385		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日12:10 - 12:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正